

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成27年6月26日
【四半期会計期間】	第47期第1四半期（自平成27年2月21日至平成27年5月20日）
【会社名】	アーランドサカモト株式会社
【英訳名】	ARCLAND SAKAMOTO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長（COO） 坂本 雅俊
【本店の所在の場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長 兼 経理部長 栗林 利行
【最寄りの連絡場所】	新潟県三条市上須頃445番地
【電話番号】	0256(33)6000（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部副本部長 兼 経理部長 栗林 利行
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第46期 第1四半期連結 累計期間	第47期 第1四半期連結 累計期間	第46期
会計期間	自平成26年 2月21日 至平成26年 5月20日	自平成27年 2月21日 至平成27年 5月20日	自平成26年 2月21日 至平成27年 2月20日
売上高 (百万円)	26,617	25,557	101,690
経常利益 (百万円)	2,880	2,474	9,645
四半期(当期)純利益 (百万円)	1,552	1,284	5,828
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	2,053	1,604	6,741
純資産額 (百万円)	51,445	59,256	58,070
総資産額 (百万円)	74,554	81,166	78,390
1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	76.54	63.34	287.40
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	66.0	66.6	67.7

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日まで）におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境に改善の動きが見られる等、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、個人消費は回復までには至っておらず、景気の先行きは不透明な状況下にあります。

このような環境下、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は255億57百万円（前年同期比4.0%減）、営業利益は23億11百万円（前年同期比15.3%減）、経常利益は24億74百万円（前年同期比14.1%減）、四半期純利益は、12億84百万円（前年同期比17.2%減）と、前年同期は消費税増税前の駆け込み需要があったことにより、減収減益となりましたが、前々年同期比では売上高・営業利益・経常利益で増収増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

<小売事業>

ホームセンター部門の売上高は162億72百万円（前年同期比9.9%減）となりました。前年度3月にオープンしたホームセンタームサシ新津店および10月にオープンしたホームセンタームサシ美原店が寄与したものの、冒頭にも述べたとおり前年同期は消費税増税前の駆け込み需要があったことに加え、春先の低温により苦戦し、既存店売上高が前年同期比11.9%減となったことによるものです。

その他小売部門の売上高は前年度オープンした2店舗（10月 アークオアシスデザイン上越店、11月 ミートプロ三条店）および今年度3月にオープンしたアークオアシスデザイン長岡店が寄与したこともあり、14億61百万円（前年同期比1.8%増）となりました。

その結果、小売事業の売上高は177億34百万円（前年同期比9.0%減）、営業利益は11億16百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

<卸売事業>

全国のホームセンター既存店売上高の低迷の影響等で、卸売事業の売上高は22億円（前年同期比4.6%減）、営業利益は1億89百万円（前年同期比28.1%減）となりました。

<外食事業>

外食事業は、主力のとんかつ専門店「かつや」の店舗数（FC店舗含む）を今年度6店舗の純増および新業態1店舗増等、積極的な事業展開により、売上高は49億16百万円（前年同期比18.5%増）、営業利益は6億90百万円（前年同期比3.6%増）となりました。

<不動産事業>

不動産事業の売上高は7億5百万円（前年同期比6.2%増）、営業利益は3億10百万円（前年同期比8.4%増）となりました。

(2)財政状態に関する分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比較して27億76百万円増加し、811億66百万円となりました。これは主に前連結会計年度末の閑散期に比べ繁忙期であるため流動資産が17億79百万円、有形固定資産が8億90百万円増加したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比較して15億90百万円増加し、219億10百万円となりました。これは主に未払法人税等が14億88百万円減少した一方で、買掛金が25億76百万円および長期預り保証金が2億95百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比較して11億86百万円増加し、592億56百万円となりました。これは主に四半期純利益により利益剰余金が9億19百万円増加したことによるものであります。

(3)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4)研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種 類	発行可能株式総数(株)
普通株式	60,000,000
計	60,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成27年5月20日)	提出日現在発行数(株) (平成27年6月26日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	20,690,843	20,690,843	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数 100株
計	20,690,843	20,690,843	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成27年2月21日～ 平成27年5月20日	-	20,690,843	-	6,462	-	6,601

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7)【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成27年2月20日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成27年2月20日現在

区 分	株式数(株)	議決権の数(個)	内 容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 411,200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 20,269,300	202,693	-
単元未満株式	普通株式 10,343	-	-
発行済株式総数	20,690,843	-	-
総株主の議決権	-	202,693	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が、600株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数6個が含まれております。

【自己株式等】

平成27年2月20日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に対 する所有株式数の割 合(%)
アークランド サカモト(株)	新潟県三条市 上須頃445番地	411,200	-	411,200	1.98
計	-	411,200	-	411,200	1.98

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,013	5,076
受取手形及び売掛金	3,157	3,724
商品及び製品	12,187	13,325
有価証券	5,991	5,990
その他	1,924	1,936
貸倒引当金	7	7
流動資産合計	28,266	30,045
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	30,882	31,214
土地	8,399	8,784
その他(純額)	1,008	1,182
有形固定資産合計	40,290	41,180
無形固定資産		
投資その他の資産	1,912	1,937
投資有価証券	2,396	2,587
敷金及び保証金	4,597	4,603
その他	940	825
貸倒引当金	14	13
投資その他の資産合計	7,920	8,002
固定資産合計	50,123	51,120
資産合計	78,390	81,166
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,317	6,894
短期借入金	2,800	2,900
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払法人税等	2,336	848
賞与引当金	236	474
その他	3,538	3,430
流動負債合計	13,729	15,047
固定負債		
長期借入金	1,500	1,375
長期預り保証金	3,223	3,518
役員退職慰労引当金	180	180
退職給付に係る負債	268	274
資産除去債務	1,360	1,385
その他	58	129
固定負債合計	6,590	6,862
負債合計	20,319	21,910

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年2月20日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年5月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,462	6,462
資本剰余金	6,603	6,603
利益剰余金	40,343	41,263
自己株式	639	639
株主資本合計	52,771	53,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	279	406
為替換算調整勘定	2	2
その他の包括利益累計額合計	277	403
少数株主持分	5,021	5,162
純資産合計	58,070	59,256
負債純資産合計	78,390	81,166

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
売上高	26,617	25,557
売上原価	17,018	16,122
売上総利益	9,599	9,434
販売費及び一般管理費	6,871	7,123
営業利益	2,727	2,311
営業外収益		
受取利息	2	13
仕入割引	80	74
持分法による投資利益	29	23
その他	50	59
営業外収益合計	163	170
営業外費用		
支払利息	2	2
その他	7	5
営業外費用合計	10	8
経常利益	2,880	2,474
特別利益		
店舗譲渡益	93	-
特別利益合計	93	-
特別損失		
固定資産除却損	14	18
店舗閉鎖損失	-	19
貸倒引当金繰入額	165	-
その他	11	5
特別損失合計	192	43
税金等調整前四半期純利益	2,781	2,430
法人税、住民税及び事業税	1,165	802
法人税等調整額	76	149
法人税等合計	1,088	951
少数株主損益調整前四半期純利益	1,693	1,478
少数株主利益	141	194
四半期純利益	1,552	1,284

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,693	1,478
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	361	126
為替換算調整勘定	1	0
その他の包括利益合計	360	126
四半期包括利益	2,053	1,604
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,912	1,410
少数株主に係る四半期包括利益	140	194

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む)及び負ののれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成26年2月21日 至 平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成27年2月21日 至 平成27年5月20日)
減価償却費	592百万円	626百万円
負ののれん償却額	3	-

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成26年2月21日 至 平成26年5月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成26年5月15日 定時株主総会	普通株式	365	18.00	平成26年2月20日	平成26年5月16日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自 平成27年2月21日 至 平成27年5月20日)

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成27年5月14日 定時株主総会	普通株式	365	18.00	平成27年2月20日	平成27年5月15日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	19,498	2,306	4,148	664	26,617	-	26,617
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,249	-	299	3,549	3,549	-
計	19,498	5,555	4,148	964	30,166	3,549	26,617
セグメント利益	1,504	263	666	286	2,721	6	2,727

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	小売事業	卸売事業	外食事業	不動産事業	計		
売上高							
(1) 外部顧客への売上高	17,734	2,200	4,916	705	25,557	-	25,557
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	3,011	-	288	3,299	3,299	-
計	17,734	5,211	4,916	994	28,856	3,299	25,557
セグメント利益	1,116	189	690	310	2,305	5	2,311

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成26年2月21日 至平成26年5月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成27年2月21日 至平成27年5月20日)
1株当たり四半期純利益金額	76円54銭	63円34銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	1,552	1,284
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	1,552	1,284
普通株式の期中平均株式数(千株)	20,279	20,279

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成27年6月26日

アーランドサカモト株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 萩森 正彦 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中村 明彦 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているアーランドサカモト株式会社の平成27年2月21日から平成28年2月20日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成27年2月21日から平成27年5月20日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、アーランドサカモト株式会社及び連結子会社の平成27年5月20日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。